

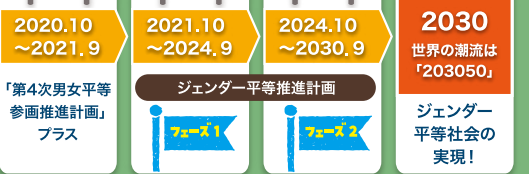
## 認め合う気持ち、助け合う力、すべての人が支え合う社会へ、 実現しようジェンダー平等!

### ジェンダー平等推進計画



合言葉は  
Change!  
Challenge!  
Movement!

2030年までにあらゆる意思決定過程における女性参画率を50%に引き上げる世界基準「203050」を見据え、労働組合は執行委員の女性割合をまずは30%にすることを目標としています。



### 連合本部・構成組織・単組・地方連合会の具体的な目標

Change! 達成目標 必ず達成	連合本部	構成組織	単組	地方連合会
2021年10月以降 ●組合員の男女比率を毎年調査、把握 ※連合本部が引き続き「参画調査」を実施	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2024年9月未まで ●女性役員(会計監査を除く)を選出 ●執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保 ●女性を常時上三役(会長・会長代行・事務局長)に登用し得る環境整備	達成済	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	達成済
2021年10月以降 ●策定する運動方針に「ジェンダー平等」の推進と明記	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Challenge! 推進目標	連合本部	構成組織	単組	地方連合会
●大会や中央委員会等議決機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	Challenge! 達成目標で	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Challenge! 達成目標で
●「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
●多様な人たちが多様な形態で参加できるように、活動スタイルを点検、見直し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

## 男女平等参画推進委員会からのご挨拶



男女平等参画推進委員会  
委員長  
萩原 光典

連合は1991年から今日まで、4次にわたって取り組んだ男女平等参画推進計画を引き継いで「ジェンダー平等推進計画」を策定し、2021年10月～2024年9月を「フェーズ1」としてChange(達成目標)、Challenge(推進目標)へと踏み出し、Movement(ムーブメント)として大きなうねりを創り出す運動を展開しています。

この計画では、2030年までにあらゆる意思決定過程における女性の参画率を50%に引き上げることを軸とし、組合員の女性比率の調査・把握や女性役員を選出、組合員比率に応じた執行機関への女性の参画機会を

確保するなどの数値目標を設定し、連合北海道としては執行委員に女性2名を増員して具現化を図りました。

これら活動を通じ、引き続き各種ハラスメントの解消、ワーク・ライフ・バランスの実現、男女間賃金格差などの是正を目指していきます。

産別の業種や地域の特性など組織事情は様々ですが、連合北海道に結集する産別・地域協議会のリーダーが先頭に立ってこの活動をけん引し、「誰もが生き(働き)やすい社会」「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた活動を進めていきましょう。

## 2024年度男女平等参画推進委員会メンバー

委員長	萩原 光典	連合北海道副会長	幹事	齋藤 航太郎	国公連合書記次長
副委員長	河原 育子	女性委員会・自治労北海道	〃	末富 ゆき	国公連合執行委員
事務局長	金子 ユリ	連合北海道副事務局長	〃	藤田 鉄平	UAゼンセン常任
事務局次長	田中 紀恵	女性委員会・北教組	〃	立藏 賢司	自治労北海道書記次長
〃	新名 玲智子	女性委員会・JAM北海道	〃	大田原 優	電力総連副事務局長
〃	横内 智子	女性委員会・国公連合	〃	大西 旨人	JP労組執行委員
〃	山田 新吾	連合北海道・組織労働局長	〃	中川 裕美子	情報労連事務局次長
〃	皆川 洋仁	連合北海道・組織対策局長	〃	原田 鉄也	全労金書記長
〃	長山 翔汰	青年委員会・自治労北海道	〃	立崎 貴大	JR総連・JR北海道労組中央執行委員
〃	中野 由郁	連合北海道執行委員	〃	光崎 聡	札幌地区連合副事務局長
〃	服部 さおり	連合北海道執行委員			
〃	勝又 真由美	連合北海道・組織労働局兼ジェンダー平等局次長			



## 男女平等参画トップリダー宣言



連合は世界の潮流である「203050」(2030年までに女性の参画率を50%)としての、ジェンダー平等社会の実現をめざしており、今年9月までを「ジェンダー平等推進計画」の「フェーズ1」の期間として取り組んでいます。連合北海道は女性の意思決定過程への参画を促進し、その影響評価を行いながら政策等に反映していく「ジェンダー主流化」を推進していきます。現在、構成産別のトップリダーの意識変化や執行委員

の女性比率も少しずつ増えている中で、その現状を行動の変化へとつなげていくことが重要となります。ジェンダー平等を推進することにより、労働運動に変化が生じ、お互いを尊重し・認め合う、そして働きがい・実感できる職場づくりにも繋がっていきます。連合北海道は、「役員・機関会議の女性参画率30%」の目標をクリアし、「フェーズ1」の達成に向けて、構成産別および地域協議会の皆さんと一体となって取り組んでいます。



連合北海道  
会長 須間 等

### 自治労

執行委員長

佐藤 環樹



自治労北海道本部は、自治労本部が2023年8月に策定した「ジェンダー平等推進計画」に基づいた取り組みや、①機関会議や執行部、各種集会等への30%以上の女性参画、②教育研修制度の確立や女性部運動、青年部運動の強化を柱とする道本部「男女がともに担う自治労北海道基本計画」を着実に推進し、誰もが対等・平等で働き続けられる職場環境、そして組合員誰もが参加できる運動を構築していきます。

### 北海道教職員組合

中央執行委員長

木下 真一



北教組は子どもたちへの「豊かな教育」をめざす中で、「ジェンダー平等教育」にとりくみ、女性の労働権確立、仕事と家庭の両立支援の運動もすすめています。超勤多忙化が一層深刻になっていますが、その効果的な改善策の策定を求めていくことが男女平等社会につながり、女性参画がすすむものと考えています。ともに頑張りましょう。

### UAゼンセン

支部長

砂長 勉



UAゼンセンは、女性組合員が6割以上を占める産業別組織の特性を考慮し、時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進、働き方に関する意識改革や教育等、男女を問わず、ワーク・ライフ・バランスを実現しやすい職場環境を構築し、男女共同参画への取り組みを着実に進めます。

### JP労組

執行委員長

千葉 浩司



社会全体で多様性や包摂性の視点をもった取り組みが加速する中、JP労組は「ジェンダー平等推進計画」の取り組みを全機関で進め、女性組合員の参画率30%(各機関大会代議員および役員配置率)を意識した「ジェンダー主流化」によって組織の活性化をはかり、「組合員を誰一人取り残さない」職場づくりの推進をはかっています。

### 情報労連

議長

萩原 光典



近年、ジェンダー、LGBTQ、SOGIなどの言葉と概念が浸透しています。情報労連は、ここからさらに性別や年齢の違い、障がいの有無、貧富の差等に関わらず「ケイパビリティ(選択可能な生き方の幅)」が誰にでも平等に保障される社会を実現する活動を進めていきます。

### 自動車総連

議長

早坂 兼輔



自動車総連ではジェンダー共同のみならず多様性への対応の観点から、自動車産業で働く全ての仲間が互いを認め合い、自分らしくいきいきと働き、誰一人取り残されることのない社会の実現に向け、適切な情報発信を行うことにより労働環境の整備に取り組めます。

### 電力総連

会長

山下 則和



電力総連では、男女のみならず全ての労働者が自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けた取り組みを進めるとともに、安心して働ける職場づくりや将来に希望が持てる生活実現を目指した活動を展開します。

### JR総連

議長

中川 憲一



「真の多様性」ある社会をめざして、差別、格差、貧困など社会の不条理に向き合い、労働運動の活性化のために、連帯・共闘を追求してきました。JR総連北海道地方協議会は、一人ひとりを尊重する公平・公正で誰もが安心してらせる社会の実現をめざし、職場から奮闘してまいります。

### 運輸労連

執行委員長

森下 和彦



「ジェンダー平等推進計画」を策定し、執行部役員の女性参画率を2025年度までに30%を目標に掲げ、本年度は女性執行委員2名を選出致しました。女性をはじめ誰もが組合活動に参画しやすい組織の構築と誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいります。

### 国公連合

執行委員長

高久保 陽一



国公連合では、「国公連合ジェンダー平等推進計画(2024年9月までの3年間)」に基づき、各種取組を行っています。この計画の運動目標として「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」をスローガンに掲げており、これらの前進に向けて、今後も具体的な取組を進めていきます。

### 森林労連

執行委員長

神成 武彦



甚大な自然災害が多発し、地球温暖化防止や環境保全としての森林・林業の再生に対する関心が高まる中、女性の新規就業者も少しずつ増えています。高性能林業機械の普及も進んでいますが、自然を相手にした厳しい職場(現場)環境に変わりはありません。将来の林業労働者の確保のためにも、性別を問わず働きやすい職場環境づくり、仕事と生活の両立等の確立に向け引き続き取り組みを進めていきます。

### 紙パ連合

執行委員長

藤山 如昭



紙パ連合は加盟組合員の女性比率が約9%と、比較的女性が少ない産別であります。このような背景があることから「労働組合役員への女性登用」などの取り組み状況は他産別と比べて遅れていることは否めません。したがって「職場における男女平等参画の推進」などの取り組みの重要性が増していることを、組織内部で再認識をはかりながら、取り組みを進めていきます。

### フード連合

議長

入江 健太郎



わたしたちフード連合は、男女が互いを尊重し、役割と責任を分かち合い、誰もがいきいきと活躍できる男女平等参画社会を目指します。その他にもジェンダー平等、多様性社会などすべての加盟する労働組合が風土改革に取り組み、個性と能力を存分に発揮できる活力ある組織作りにも取り組んでいます。

### 交通労連

執行委員長

高橋 英雄



交通労連は交通運輸産業に従事する労働者によって主に構成されております。社会・経済活動を支える「パイプ役」という重要な役割を担う業種である一方、慢性的な人材不足に悩まされている要因のひとつには「固定的性別役割分担意識」や「ジェンダーバイアス」が根強いことにあると考えております。「安全」「安心」「快適」に人流・物流を支え続けるため、「多様性」を尊重し、誰もが安心して働ける職場環境の整備に取り組んでまいります。

### 基幹労連

委員長

荒川 孝志



基幹労連は、第4次男女共同参画推進計画のもと、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、一個人として、その個性と能力を十分に発揮することのできる社会の実現に向け、引き続き取り組んでいきます。北海道本部としては、女性集会や青年女性研修会等の継続した取り組みを通じ、更なる男女共同参画の理解・浸透を図り推進します。

### 電機連合

議長

谷口 幸一



電機連合北海道地方協議会は、男女があらゆる場に平等に参画し、ともに働く喜びを実感できるよう、性別や年齢、育児・介護の家族的な責任などの事情にかかわらず、一人ひとりを持つ能力や個性を発揮できる職場環境づくりを行うとともに、すべての労働者がゆとりと豊かさを実感できる生活の実現をめざしていきます。

### 私鉄総連

執行委員長

加藤 裕幸



私鉄総連は、青年女性協議会として活動しています。女性ドライバーの悩みとして仕事と家庭生活の両立が課題となる事があります。不規則な労働時間・長時間などが、家庭生活や育児との調整を難しくすることがあります。青年・女性協議会を通じ、より良い職場環境づくりに取り組みます。

### JAM北海道

執行委員長

島田 暢如



JAM北海道は昨年立ち上げたワークグループを活用し各グループリーダーを基軸として活動を推進し、性別に関わらず個々の能力が発揮できる透明性のある環境を整え「見える化」を通じて男女平等参画を標準化し、これによりさらなる労働環境の向上を目指す組織を追求して参ります。

### JR連合

議長

昆 弘美



JR連合は、「第4次男女平等参画行動目標」に基づき、行動目標を組織内で共有し各級機関へ浸透させるとともに、目標達成に向けて積極的に取り組むこととします。また、「女性役員意見交換会」を開催し、女性役員同士のネットワーク構築や情報共有、育成を図る目的で取り組みを展開しています。

### 全自交

委員長

鈴木 久雄



全自交北海道地連はタクシー産業で働く仲間間で組織され、性別間の格差が皆無の職場です。タクシー運転者不足が叫ばれており、各組合において女性・若者の方々に選択していただける職場環境改善に取り組んでいます。まだまだ、男性が多数を占める職場であり、女性の組合役員はほとんどいませんが、女性の声を反映した取り組みに留意しています。

### 全国ガス

執行委員長

普本 寿



全国ガスでは、誰もが安心して生き生きと働くことができる環境づくりに向け、私たちがジェンダー平等へ取り組むことは、私たちが抱える諸課題の解決、ひいては私たちがガスをはじめとする関連産業の持続的な成長・発展につながるものであり、その必要性は年々高まっているとの認識のもと、ジェンダー平等推進に向けた理念・基本的考え方を多様な人材が活躍できる環境づくりの端緒と位置づけ、取り組みを強く進めていきます。

### 全労金

執行委員長

鶴見 雅司



全労金は、ジェンダー平等推進計画に基づき、誰もが等しく参画できる社会の実現とあわせて、労働組合活動への参画が進むよう、活動と生活の調和が図られる環境の整備に向け、取り組みを進めます。また、男女間賃金格差の差異について、実態を分析し、誰もが安心して働き続けられる環境整備に取り組めます。

### 北海道私教協

執行委員長

石井 翼



多様性を尊重し合う社会の実現のために、「教育」が担う部分は大変大きいものがあると考えます。道私教協はより一層、一人ひとりが活躍できる組織作りにも励みます。そして、未来を担う子どもたちが認め合う心を持つよう、様々な取り組みができる学校現場を目指し、尽力します。

### 労済労連

全労済労働組合北海道分会  
分会委員長

小島 純一



全労済労働組合北海道分会においては、上部組織である北海道・東北支部の方針に結集し、女性特別支部執行委員を選出してあります。「全労済労働組合ジェンダー平等推進計画」にもとづき、男女平等参画およびジェンダー平等の推進に関する取り組みを着実にすすめてまいります。





# 連合北海道 [地域協議会]

## 男女平等参画 トップリーター宣言



### 連合北海道 石狩地域協議会

会長代行

**定居 美稚子**



連合が掲げる目標の達成に向けては、まず私たち一人ひとりが生活や仕事の中での「無意識の思い込み」に気づき、多様な視点を持って取り組みを進めることが重要です。性別や年齢などにとらわれず誰もが公平に活躍できる社会を実現しましょう。

### 連合北海道 渡島地域協議会

函館地区連合女性委員会  
委員長

**海原 佳奈子**



最近、多様性という言葉が多く見聞きするようになりましたが、現状では言葉が独り歩きしているような気がしています。本当の意味で性別や年齢など関係なく、尊重し合える社会をめざし、取り組みを進めます。

### 連合北海道 檜山地域協議会

自治労上ノ国町役場職員組合  
副執行委員長

**山川 奈々子**



男女平等参画社会の実現に向けて、様々な法整備や社会的な環境が整えられてきています。私たちは、今の状況に満足せず、男女が互いに手を取り「職場」の環境を改善し、「家庭」と「仕事」の「調和」を図って、余裕のある「差別」のない「職場」を構築していきましょう。

### 連合北海道 後志地域協議会

会長

**佐々木 克夫**



男女共同参画への意識は社会に浸透してきているものの、取り巻く課題が多様化しています。性の多様性は個人の尊厳に関わる人権の問題と捉え認識していく必要があることから、LGBT等への理解を深め、あらゆる性を尊重し合う社会づくりに向けた活動を進めます。

### 連合北海道 空知地域協議会

会長

**八木巻 俊**



社会を覆っている世界情勢不安や物価高によって、労働者の不安が拡がり多様性を認めようとする政治が、固定化された価値観を押し付け社会格差も広がっています。私たちは、格差社会に無頓着な今の政治に対峙し、ジェンダー平等や多様性を尊重した社会をめざしていきます。

### 連合北海道 上川地域協議会

会長

**溝口 信之**



ジェンダー平等の社会を作るためには男女共同参画をこれまで以上に推し進めなければなりません。政治や会社、労働組合の重要なポストへの女性登用は少ない現状にあり、誰一人取り残されない職場づくりに向けた環境整備が必要と云えます。多様な声を反映した組織、運動を作り上げるべく連合が先頭に立ち取り組み強化を図ります。

### 連合北海道 留萌地域協議会

会長

**中内 孝**



ジェンダー平等を推進していく第一歩は、「おじさん達」がやっていると思われがちな労働組合の活動に、誰もが参加しやすく「楽しそう!やってみたい!」と思える若者や女性の視点を取り入れることです。多様な仲間の知恵を結集して、取り組みを進めます。

### 連合北海道 宗谷地域協議会

事務局長

**宮森 貴大**



女性が参加しやすい体制づくりのため、地域の構成産別・地区連合と連携して、少しでも前進させることができるよう執行部が中心となって取り組む必要があると考えています。性別・年齢・国籍・障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、支えあうことのできる環境と、安心して働きやすい社会の実現を目指します。

### 連合北海道 網走地域協議会

青年・女性委員会  
委員長

**小野 友里恵**



学校現場では、今でも「男子はこうだ」「女子だから」という声が子どもたちから聞こえてくる場合があります。大人の私たちが、誰に対しても一人の人として接していくことで、今からも将来もジェンダー平等に活躍できる社会を目指します。

### 連合北海道 胆振地域協議会

事務局長

**松田 潤**



胆振地協の女性組合員の比率は約25%となっています。しかし役員体制については女性役員の選出ができておらず、大きな課題となっています。引き続き、課題解消に向けて構成産別や地区連合と連携し、ジェンダー平等推進の取り組みを強化してまいります。

### 連合北海道 日高地域協議会

会長

**岡部 将樹**



日高地域協議会は、労働組合運動への女性参加率の向上を目指し、2024年度の役員体制も、副会長1名及び執行委員1名に女性が参画することを実現しています。引き続き、各種集会・会議等に女性が参加・参画するよう働きかけていきます。

### 連合北海道 十勝地域協議会

会長

**佐竹 良将**



性別に関わらず、平等に責任や権利を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていく「ジェンダー平等」は、SDGsの目標としても示されています。あらゆる場面で「ジェンダー平等」の意識をもって取り組みを創っていくことが大切だと感じています。十勝地協では、「男女平等参画推進運動」の取り組みとして、これまで同様「青年・女性委員会」の活動を支援していきます。

### 連合北海道 釧根地域協議会

釧路地区連合会青年女性委員会  
委員長

**小山 真里奈**



男女平等参画・ジェンダー平等の実現に向け、現在の問題・課題等を正しく認識しながら、性別・年齢など関係なく、誰もが平等に自分らしく生きていくためには何が必要なのかということ仲間とともに考え合いながら、多様性のある社会をめざしていきます。